

投稿規定

(1990.12.11 実施/ 2004.2.1 改/2006.6 改/2006.11 改/2007.5 改/2007.8 改/2009.2 改/2020.7 改)

1 投稿者

投稿者の少なくとも一人が投稿時に当協会の会員であることが必要です（投稿時入会でも可）。

2 原稿の種類と内容

2.1 研究論文

リハビリテーション工学に関連する分野で、学術上および技術上の価値がある新しい成果を記述した原著論文。また、リハビリテーション工学に関連する研究成果につき科学的分析手法を用いて評価総説した原著論文。

2.2 研究報告

リハビリテーション工学に関連する分野で、新規性があり、学術上および技術上早期に発表する価値がある報告、支援技術に関する有用な成果を記述した報告であり、原著論文とする。

2.3 技術・開発報告

リハビリテーション工学に関連する機器開発や計測手法等についての技術的な報告。リハ工学カンファレンス、福祉機器コンテストにおいて発表された内容を発展させた投稿も対象とする。ただし、既発表と全く同一内容の投稿は受理しない。また、査読委員会の判断にて、原著論文として推薦・掲載することもある。

その他、編集委員会よりの依頼原稿にかかる規定は別途定める。

3 著作権

会員の権利保護のため、著作権のうち複製権および公衆送信権は本協会に属するものとします。ただし、著作者が自ら複製または公衆送信を行う場合には、出版日から 90 日後において、本誌に掲載している旨を明記の上自由に行うことは差し支えありません。

4 投稿原稿の採否

投稿原稿は、他誌に既発表でないことを要件とします。投稿原稿の採否は査読規定に基づき本誌編集委員会に属する査読委員会にて決定します。また、場合によっては原稿の種類の変更をお願いすることがあります。

5 研究倫理

（該当する場合のみ）ヒトを対象とした研究においては、ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、説明と同意の手続きを本文中に記してください。また倫理審査委員会等の承認を得ている場合

はその旨を明記してください。

6 利益相反

利益相反事項がある場合、本文中に記載してください。

7 原稿の構成

7.1 書式

当協会の定めるテンプレートに準じてください。本文は明朝体、見出しおよび図表・動画タイトルは MS ゴシック を推奨します。英文は Times New Roman など、なるべく一般的に使用されているフォントを使用してください。図表は約 300 字程度に換算して下さい。

7.2 要旨

和文・英文双方で、見出し語（5 語以内）、要旨（概ね 300 字以内、英文 200 語以内）を記して下さい。

7.3 本文

文章はできるだけ常用漢字、新かなづかいを用い、慣用の学術用語を用いて下さい。リハビリテーション工学は学際的領域であり、学術的成果・技術・開発を多様な読者に理解し、活用してもらえよう表現に配慮して下さい。本文の「章」に相当する大きい見出しは順次 1, 2, … のように、「節」の部分に相当する見出しはそれぞれ 1. 1, 1. 2 … のように、「項」の部分に相当する見出しは 1. 1. 1, 1. 1. 2 … のようにして下さい。なお、見出しは行の端から書き出し、本文は行を変え、一ます空けて書き出すようにして下さい。さらに小さい見出しが必要な場合は順に (1), (1) のようにして下さい。

7.4 図表

画像データは、できるかぎり JPEG 形式としてください。冊子版ではグレースケール掲載となります。電子公開版でのカラー掲載を希望される場合はカラーで提出の上、「電子公開版カラー掲載希望」と明記してください。

7.5 動画

投稿論文の説明表現として動画を使用することができます（電子公開版のみ）。動画は Web での閲覧に耐えうるものとしてください。1 論文の動画ファイルサイズは 1 ファイル 50MB 以下、動画の長さは 1 論文につき合計 3 分以内とし、ファイル数の上限は定めません。ファイル形式は、Windows Media Player または Quick Time Player で再生可能な形式（動画は mp4、mpeg、mpg、mov、avi、音声は mp2、mp3、wav）で作成してください。J-STAGE

の画面上で動画再生ができるのは、mp4 形式のみ（他形式の場合はダウンロードして閲覧）となりますので、mp4 形式を推奨します。

d. 図表、e. 動画とも、タイトル・ナンバー・説明文を必ず記載し、タイトルフォントは**MSゴシック** 10 ポイントとして下さい。挿入箇所は本文中に図表番号を記して明記してください。

図表・動画添付にあたり、著作権および肖像権等の権利侵害に留意し、必要に応じ個人情報に配慮した画像処理をしてください。

7.5 参考文献

参考文献は、本文中の該当場所の右肩に下記の形で文献番号を記入し、本文の後に文献リストをつけて下さい。

(例・・・鈴木ら 1)によると、・・・)

文献の書き方は、次のようにして下さい。

(1) 雑誌の場合【以下、例 1), 2)】

著者名: 表題名, 雑誌名, 巻(号), 最初-最後の頁, 発行年

(2) 単行本で単独(共同)執筆の場合【3), 4)】

著者名: 書名, 版数, 最初-最後の頁, 出版社, 発行年

(3) 単行本で分担執筆の場合【5)】

著者名: 章名, 編集者名(編), 書名, 版数, 最初-最後の頁, 出版社, 発行年

(4) Web ページの場合【6)】

URL(年/月/日確認)

なお、DOI が付与された文献の場合は文献記載の後に DOI を記載することが望ましい。

- 1) 利業工人：障害者の移動機器・システム，リハビリテーション・エンジニアリング，8(10)，71-75，1990 DOI:10.24691/resja.10.2_71
- 2) Rehatech A. B.：Human Knee Prosthetics, Bio-Prosth., 1(1), 100-110, 1989
- 3) X. リハコウスキ(工学太郎訳)：福祉ロボットと人工知能，1 版，123-125，福祉工業新聞社，1999
- 4) Icart H. B.：The Super Wheelchair, 1st, 77-88, RESNA, 1992
- 5) 自立志郎，自立花子，他：ヒューマン・コミュニケーション，愛賀大一，他(編)，日常生活活動-評価と訓練の実際-，5 版，104-123, QOL 出版，1985
- 6) <https://www.resja.or.jp/journal/kitei.html> (2020 年 7 月 17 日確認)

8 資料および図表の引用

他者の著作権に帰属する資料および図表・動画を引用するときは著者が複製権および公衆送信権の利用許可申請手続きを行って下さい。

9 原稿枚数

刷り上がりの 1 ページは、文字のみの場合、23 字(全角)、42 行の 2 段組みになります。400 字原稿用紙では約 5 枚に相当します。図表・動画を含む場合は、適宜、換算して下さい。原稿は下記の枚数を超えないように配慮して下さい。

(1)	研究論文	刷り上がり	8 頁
(2)	研究報告	刷り上がり	6 頁
(3)	技術報告	刷り上がり	4 頁

10 表紙

原稿には、原稿の種類、表題名、著者名、所属、連絡先(メールアドレス等(掲載記事への記載は任意))を明記した表紙をつけて下さい。

11 原稿の提出

当協会 HP 上の投稿書式を用い、執筆原稿は、編集事務局宛に電子メール添付でお送り下さい。

(送付先 E-mail: journal@resja.or.jp)

データは、使用ソフトで作成した原稿および図表をお送りください。動画を原稿に含める場合はメール添付せずファイル形式・容量を記してご連絡ください。ファイル名に著者名を付け、メール件名に「リハ工協会誌原稿」としてメールでお送りください。

12 掲載料

原著論文(研究論文、研究報告)掲載料は掲載号発刊時に筆頭著者が会員である場合、刷り上がり 1 頁あたり 3000 円、それ以外は 5000 円を頂きます。この掲載料には、別刷り 20 冊の料金を含みます。

災害、感染症の影響により、掲載年度における掲載料の納入に支障がある場合は編集委員会事務局にご連絡ください。

13 電子公開

本誌に掲載する投稿論文は、障害者等への情報保障のために、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)にてオープンアクセスで電子公開します。著者の申し出による機関リポジトリへの掲載(公開)を一定の条件の下で可能とします。また、協会誌は本協会より委託を受けた機関によって電子公開(電子出版)することもあります。